

リハビリケアかつしかの

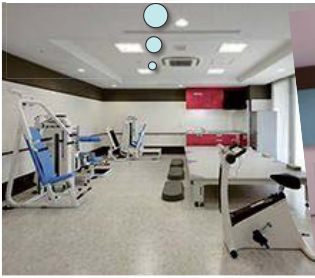


繰り返し利用システム

「ご自宅」と「リハビリケアかつしか」を
3ヶ月程のサイクルで繰り返し利用するシステムで

- ★**メリット1** 入所中は毎日リハビリをすることができます。退所しても併設のショートステイ・通所リハビリ・訪問リハビリを利用することで、切れ目なくリハビリを続けることができます。
- ★**メリット2** 無理なく介護を続けることが可能です。3ヶ月ごとに施設に入所されるのでご家族負担が軽くなります。
- ★**メリット3** リハビリの専門職が必ずお宅訪問をします。入所前や退所後にご自宅に伺い、ご家庭内のお困り事等相談に乗ります。適切な**介助方法**もご指導致します。

広々とした
リハビリ室



訪問にも
伺います！



医療法人社協友会 介護老人保健施設
リハビリケアかつしか
〒124-0025
東京都葛飾区西新小岩3-37-8 Tel. 03-5672-1178



かつしかリハビリ通信

平成28年9月
No.0024
記事☆PT内田麻子
編集☆リハビリ科

訪問リハビリを開始致しました。お気軽にご相談ください。

関節リウマチの診断基準

- 1.朝のこわばり
- 2.3関節以上の関節炎
- 3.手の関節炎
- 4.対称性の関節炎
- 5.リウマトイド結節
- 6.血清リウマトイド因子
- 7.エックス線像

※7項目のうち4項目を満たせば関節リウマチと分類されます。

朝のこわばり・痛み・腫脹・発赤があり、手足の小関節から症状が出はじめ、次いで手・肘・足・膝が対称性に症状が現れます。母指のZ字変形や尺側偏位、ボタン穴変形が代表的です。

関節の滑膜に滲出・細胞浸潤が起こり、細胞浸潤部位に欠陥と繊維芽細胞が増殖して肉芽組織を形成し、骨を破壊し関節の變形や骨性硬直をきたす病変です。経過が長く、増悪と寛解を繰り返します。

症状

関節リウマチとは・・・

今回は『**関節リウマチ**』について御紹介したいと思います。

今月のテーマ 『関節リウマチ』

- 治療**
- 薬物療法として痛みや炎症の抑制のため、非ステロイド性抗炎症薬(NSAID)やステロイドが使用されます。また病気の進行を抑える為に抗リウマチ薬を使用することもあります。
- 関節リウマチのリハビリについて**
(座ってできる運動)
- ① 股関節を横に開く・緩めるを繰り返す
 - ② 膝を伸ばす
 - ③ 足の爪先を上げる
 - ④ 腕を肩の高さまで上げる・下ろすを繰り返す
 - ⑤ 手首を上げる・下げるを繰り返す
 - ⑥ 肘を曲げる・伸ばすを繰り返す
 - ⑦ 手のグーパーを繰り返す
※痛みがあるときは無理をしないで、お休みしましょう。
 - ⑧ 日常生活で気を付けること
①なるべき洋式の生活にしましょう。
②作業を行う時は椅子に座りましょう。
③長時間同じ姿勢でいることは避けましょう。
④寝るときは小さく低い枕を使用しましょう。
⑤外出時はリュックやカートを利用しましょう。
⑥補助具(自助スプーンや自助箸など)を利用しましょう。



入所・通所・訪問リハビリのご相談は 03-5672-1178

介護老人保健施設 リハビリケアかつしか <http://www.rc-katsushika.jp/>